

令和5年度

事業報告書

理事会提出案

法 人 本 部
千 歳 敬 心 苑
池 袋 敬 心 苑
浦安市障がい者福祉センター
敬 心 ゆ め 保 育 園
江東区障害者福祉センター

社会福祉法人 敬心福祉会

令和5年度事業報告書

目 次

	頁
1 社会福祉法人敬心福社会 経営理念 . . .	1
2 第1部 法人本部 . . .	2
3 第2部 千歳敬心苑 . . .	11
4 第3部 池袋敬心苑 . . .	18
5 第4部 浦安市障がい者福祉センター . . .	28
6 第5部 敬心ゆめ保育園 . . .	32
7 第6部 江東区障害者福祉センター . . .	35

社会福祉法人敬心福社会 経営理念

わたくしたちは、少子高齢社会における地域福祉の拠点たる使命を自覚し、次に掲げる理念の基に永続的事業の経営に取り組みます

- 1 いつも敬う心で人権と尊厳を守り、利用者(おとしより・障がい者・児童) に接します
- 2 ひとりひとりの利用者にとって最もふさわしい生活を追求し、利用者と家族が満足するサービスの提供に努めます
- 3 法人・施設の持つ機能を活かし、地域社会への貢献に努めます
- 4 常に健全で活力ある経営と民間社会福祉事業としての先駆性・独自性に努めます
- 5 常に職員の資質の向上と待遇の改善を図り、いつも明るくさわやかに働く施設を目指します



第1部
法人本部
目次

		頁
1	令和5年度 事業報告（はじめに） . . .	2
2	令和5年度 . . .	3
	理事会及び評議員会の開催状況	
3	役員名簿・評議員名簿 . . .	5
4	法人組織図 . . .	6
5	法人の沿革 . . .	7
6	法人経営会議の開催状況 . . .	8
7	その他事業報告 . . .	10

令和5年度 事業報告（はじめに）

この度の能登半島地震により被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。また、福祉サービスを必要とする方々の平穏な日常が戻ってくることを、被災地の回復が早期に実現されることを願ってやみません。

さて、令和5年の初めには、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、人々の行動制限が解除され、日常の時間が戻りつつあり、街中には訪日外国人の姿を、従来に増して目にする機会が増えており、インバウンド需要等による経済回復の動きがみられます。ただ、国際的にはウクライナ紛争の長期化、中東情勢の緊迫化、そして石油などの一次産品の上昇や急速な為替変動などもあり、先行き不透明な状況に変わりはありません。

私ども福祉業界においては、コロナ以前からの課題である、少子高齢化による福祉職員の確保と職員の高齢化というジレンマを抱えており、国の政策による介護職への賃金改善・支援。また、令和6年度の介護報酬の改定においても、人件費に対し手厚く処遇されております。しかし、国の生産年齢人口の減少による労働力不足、それに伴う国内需要の減少による経済規模の縮小は深刻の度合いを深め、人材確保を念頭に一般企業では大幅な賃上げを実施いたしてあり、そのことは結果として福祉業界からの人材流失を招くことになり、結果職員確保の困難な状況は続くことになると考えられます。

職員確保の困難さを抱えていますが、利用者の方々に対し、福祉サービスを提供することが、関係者の生活基盤の安定に資することにつながり、困難な日本経済を下支えすることとなります。令和6年度の介護報酬改定においても、地域の福祉資源の活用と多職種との連携を図り、重度化を防ぎ得る良質な福祉・介護サービスを持続的、効率的に提供し、適正な評価を通しその体制を維持発展させることを求められております。多様な人材を活用確保し、生産性向上と効果的な運営のためにICT・ロボット・AIなどの利用検討・実践することが必須のこととなります。2040年に高齢者がピークを迎えることを見据、地域の実情・人材資源を見極め、新しいテクノロジー等を積極的に施設運営に生かし、実践可能な組織となる改革を目指してまいります。

なお、令和5年度・6年度の新規事業として、令和5年4月より、江東区障害福祉センターの受託運営を開始し、令和6年度よりは、令和5年度モデル事業として立ち上げた豊島区での入浴介護事業が本格的居宅支援事業となり、令和6年度に受託を受けることとなります。地域に暮らすかたがたの必要とする新たなサービスの創造と提供を目指し、将来への課題対策として取り上げていきたいと思っております。皆様方のご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

令和6年5月
社会福祉法人 敬心福祉会
理事長 小林 光俊

1 令和5年度 理事会及び評議員会の開催状況

開催日（場所）	出席者数	主な内容
第1回理事会 令和5年5月24日（金） 午後3:00～午後4:00 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階ペガサス	理事5名 （欠席1名） 監事2名 （欠席0名）	《議案》
		第1号 令和4年度事業報告
		第2号 令和4年度計算書類等の承認
		第3号 次期役員候補者の推薦
		第4号 定時評議員会の開催
		第5号 社会福祉充実残額
		第6号 施設運営規程の一部改定
		《報告》
		第1号 監事監査の実施
第2号 財務会計に関する支援業務実施		
定時評議員会 令和5年6月23日（金） 午後2:00～午後4:00 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階ペガサス	評議員5名 （欠席2名） 理事5名 （欠席1名） 監事2名 （欠席0名）	《議案》
		第1号 令和4年度計算書類等
		第2号 理事及び監事の選任
		《報告》
		第1号 令和4年度事業報告
		第2号 監事監査の実施報告
第2回理事会 令和5年6月23日（金） 午後4:00～午後4:30 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階ペガサス	理事5名 （欠席1名） 監事2名 （欠席0名）	《議案》
		第1号 理事長の選定
		第2号 常務理事の選定
		《報告》
		第1号 理事の業務執行状況
理事会の決議の省略 決議日令和5年9月8日	同意 理事6名全員 異議確認 監事2名全員	第1号議案
		評議員選任・解任委員会の委員選任 監事齊藤幸司選任（監事村尾俊明辞任）
		第2号議案
		敬心ゆめ保育園運営規程変更 船橋市条例改正副食費の実費徴収金額変更
理事会の決議の省略 決議日令和6年2月13日	同意 理事6名全員 異議確認 監事2名全員	第1号議案
		豊島区「としま入浴通所サービス（通所型サービスA事業）業務委託プロポーザル提案」への応募

<p>第3回理事会 令和6年3月15日(金) 午後1:30~午後3:30 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階ペガサス</p>	<p>理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)</p>	<p>《議案》</p>
		<p>第1号 令和6年度事業計画</p>
		<p>第2号 令和5年度補正予算</p>
		<p>第3号 令和6年度予算</p>
		<p>第4号 施設運営規程の一部改定</p>
		<p>第5号 第三者委員の選任</p>
		<p>《報告》</p>
		<p>第1号 令和6年度会計、特定個人情報管理責任者の任命</p>
		<p>第2号 令和6年度嘱託医(産業医)</p>

2-1 役員名簿

定数 理事6～7名、監事3名（令和6年3月31日現在）

	役職名	氏名	就任月日（任期）	主な経歴
1	理事長	小林 光俊	令和5年6月23日 ～令和7年6月	学校法人敬心学園 理事長
2	理事	柳澤 均	令和5年6月23日 ～令和7年6月	常務理事
3	理事	佐藤 宏美	令和5年6月23日 ～令和7年6月	敬心ゆめ保育園 園長
4	理事	原田 佳明	令和5年6月23日 ～令和7年6月	しんわ税理士法人代表社員・税理士
5	理事	肥田 淳	令和5年6月23日 ～令和7年6月	江東区障害者福祉センター センター長
6	理事	林 正志	令和5年6月23日 ～令和7年6月	学校法人敬心学園 本部長
7	監事	齊藤 幸司	令和5年6月23日 ～令和7年6月	齊藤会計事務所所長・税理士
8	監事	岩崎 雄大	令和5年6月23日 ～令和7年6月	多久島岩崎法律事務所・弁護士

任期の終期は、令和7年度の定時評議員会の終結時（令和7年6月）

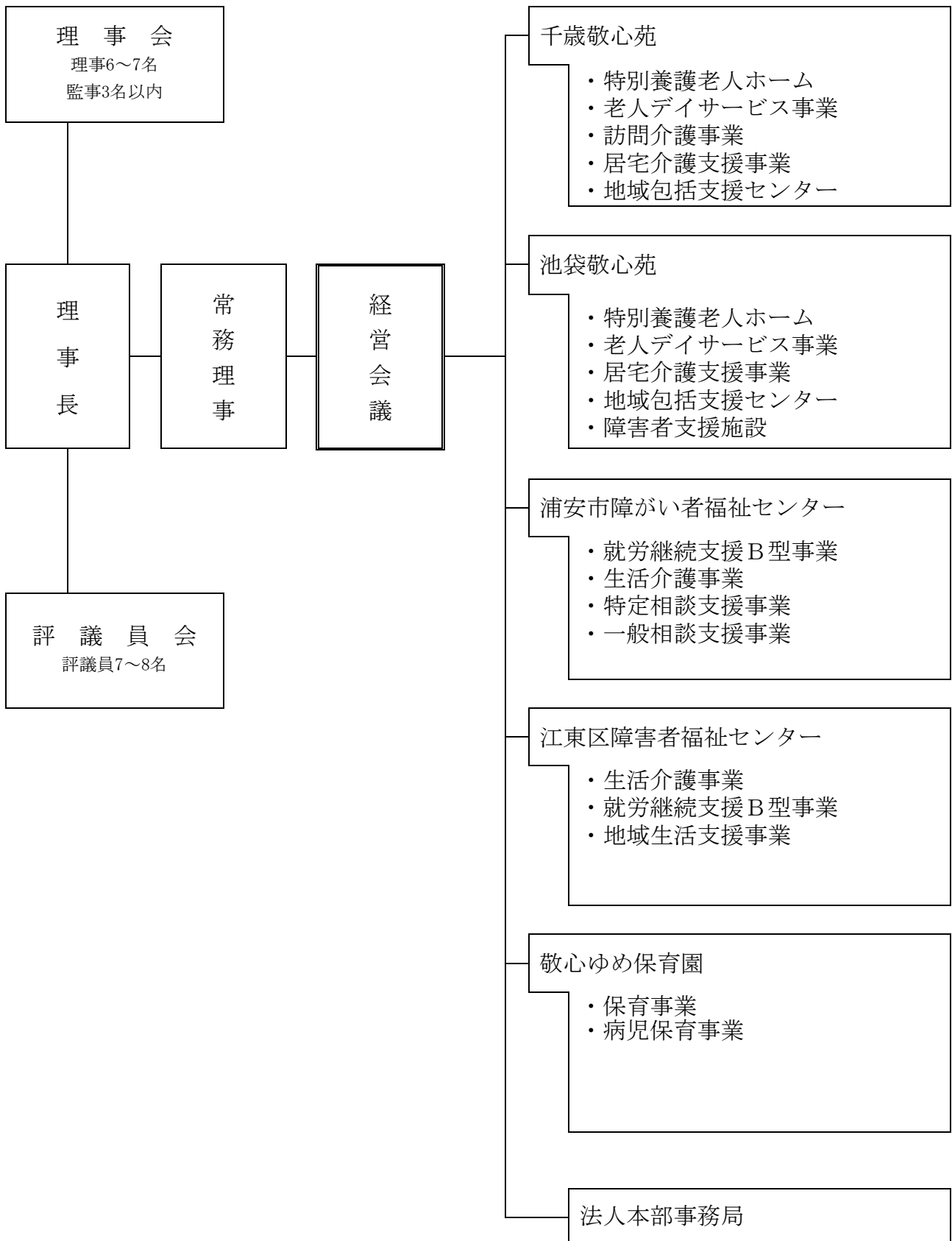
2-2 評議員名簿

定数 7～8名（令和6年3月31日現在）

	氏名	就任月日（任期）	主な経歴
1	内野 滋雄	令和3年6月10日 ～令和7年6月	（福）三徳会 理事長・医師
2	鈴木 武夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	元 東京都参事
3	宍戸 安夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	世田谷区給田町会 会長
4	蟻塚 昌克	令和3年6月10日 ～令和7年6月	立正大学社会福祉学部 教授
5	鈴木 恵子	令和3年6月10日 ～令和7年6月	民生委員・児童委員・保護司
6	児玉 裕司	令和3年6月10日 ～令和7年6月	日本陶芸倶楽部 理事長
7	魚津 亮太	令和3年6月10日 ～令和7年6月	（福）恩賜財団東京都同胞援護会 総務部長

任期の終期は、令和7年度の定時評議員会の終結時（令和7年6月）

3 社会福祉法人 敬心福社会 組織図



4 法人の沿革

平成	8	年	2	月	15	日	社会福祉法人 敬心福祉会 設立
平成	9	年	4	月	14	日	特別養護老人ホーム「千歳敬心苑」設置認可・開所
			6	月	1	日	老人短期入所事業「千歳敬心苑」開始
			7	月	1	日	老人デイサービスセンター「デイ・ホーム千歳」開所
平成	11	年	4	月	4	日	「給田在宅介護支援センター」開所
平成	12	年	10	月	1	日	「給田介護保険サービス」事業開始
平成	14	年	5	月	1	日	「給田ヘルパーステーション」開所
平成	15	年	11	月	1	日	「浦安市障がい者福祉センター」の運営受託
平成	17	年	4	月	1	日	特別養護老人ホーム「池袋敬心苑」設置認可・開所 老人短期入所事業「池袋敬心苑」開始 老人デイサービスセンター「デイホーム南池袋」開所 「ふくろうの杜在宅介護支援センター」開所 「ふくろうの杜介護保険健サービス」事業開始 身体障害者療護施設「雑司谷」開設 身体障害者短期入所事業「雑司谷」開始
			10	月	1	日	「雑司谷デイサービスセンター」開所
平成	18	年	4	月	1	日	「烏山あんしんすこやかセンター」開所 「ふくろうの杜地域包括支援センター」開所 「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」開設
平成	20	年	7	月	1	日	「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」受託
平成	21	年	4	月	1	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業運営受託
平成	22	年	1	月	1	日	ふくろうの杜地域包括支援センターを 「ふくろうの杜高齢者総合相談センター」に名称変更
平成	23	年	4	月	1	日	浦安市知的障がい者通所授産施設、浦安市知的障がい者通所更生施設及び浦安市福祉作業所を、就労移行支援、就労継続支援B型及び生活介護の各事業へ移行
平成	24	年	4	月	1	日	身体障害者療護施設「雑司谷」を、障害者支援施設（施設入所支援、生活介護）へ移行
平成	25	年	3	月	31	日	「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」閉店 「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」指定管理期間満了
平成	26	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 開園
平成	29	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 病児保育事業 開始
平成	31	年	3	月	31	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業 期間満了
令和	3	年	4	月	1	日	浦安市障がい者福祉センターの指定管理更新に伴い、 「一般相談支援事業」開始
令和	4	年	11	月	1	日	「江東区障害者福祉センター」準備室の設置
令和	5	年	4	月	1	日	「江東区障害者福祉センター」運営開始
令和	6	年	4	月			「としま入浴通所サービス」受託

5 令和5年度 経営会議の開催

回	開催日	開始時刻	場所	会議内容	備考
1	4月19日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の3月近況報告 3月決算・予算執行の状況報告 5月理事会開催への準備確認 	定員9名 参加9名
2	5月17日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の4月近況報告 5月理事会開催への準備確認 6月定時評議員・理事会への準備確認 	定員9名 参加9名
3	6月23日 (水曜日)	13時30分	ホテルグ ランドヒ ル市ヶ谷	<ul style="list-style-type: none"> 各施設5月近況報告 定時評議員・理事会の確認 役員改選 	定員9名 参加9名
4	7月19日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設6月近況報告 豊島区「入浴特化型モデル事業」 水道光熱費等の急騰はガス単価の低下等により小康状態 「みなし決議」理事会の開催 	定員9名 参加9名
5	8月16日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設7月近況報告 9月に、船橋市の指導監査 江東区障害者福祉センターで利用者の保護者から車両寄付 	定員10名 参加10名 林理事参加
6	9月21日 (木曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設8月近況報告 浦安市きらりあ11月に20周年イベント ゆめ保育園会計監査・実地指導監査 	定員10名 参加8名
7	10月18日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設9月の近況報告 永年勤続表彰 池袋職員総会 	定員10名 参加8名
8	11月15日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設10月の近況報告 浦安市きらりあ20周年イベント 来賓浦安市長ほか 消費税 	定員10名 参加10名

9	12月13日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設11月の近況報告 池袋東京都の現地検査 障がい者GHの検討 	定員10名 参加10名
10	令和6年 1月18日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設12月の近況報告 感染状況の報告 浦安市との協議(令和8年以降) 江東区基幹相談事業・消費税 	定員10名 参加10名
11	2月14日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> 各施設1月の近況報告、3月見通し 豊島区入浴通所サービス業務委託 浦安市きらりあGH報告 感染症 	定員10名 参加9名
12	3月15日 (金曜日)	15時30分	ホテルグ ランドヒ ル市ヶ谷	<ul style="list-style-type: none"> 各施設2月の近況報告、3月見通し 浦安市きらりあGH報告 敬心ゆめ保育園 卒園式 	定員10名 参加10名

経営会議参加メンバー(令和6年3月31日現在)

理事長 小林 光俊	常務理事 柳澤 均	理事 原田 佳明
理事 林 正志	敬心ゆめ保育園 園長 佐藤 宏美	江東区障害者福祉センター センター長 肥田 淳
千歳敬心苑 施設長 山口 晃弘	池袋敬心苑 施設長 齋藤 隆弘	浦安市障がい者福祉センター センター長 大島 佐登子
法人本部事務局 事務局長 中村 純		

6 その他事業報告

- 1 指定管理事業 43,513,962 円 (昨年 24,464,000 円)
 (1) 浦安市指定管理事業 24,269,000 円 (昨年 23,420 千円)
 (2) 江東区指定管理事業 19,244,962 円 (昨年 1,044 千円)
 事業の詳細は、第 4 部第 6 部参照。

2 東京電力(株) 架設送電線路契約(千歳敬心苑) 2,107,675 円
 平成 8 年 4 月より東京電力(株)との間にて、標記契約を締結。
 線下補償料の平米単価推移 2,740 円(平成 8 年) ➡ 2,790 円(平成 10 年)
 ➡ 2,845 円(平成 12 年) ➡ 2,788 円(平成 14 年)
 2,760 円(平成 16 年・現在) × 763.65 m² ≒ 2,107,675 円

- 3 永年勤続表彰事業 対象者 36 名 支払額 1,520,000 円

番号	名 称	表彰 人数	金 額	備 考 (昨年)
1	千歳敬心苑	9 名	420,000 円	440,000 円
2	池袋敬心苑	13 名	490,000 円	470,000 円
3	浦安市障がい者福祉センター	9 名	430,000 円	210,000 円
4	敬心ゆめ保育園	4 名	120,000 円	180,000 円
5	江東区障害者福祉センター	1 名	60,000 円	
	計	36 名	1,520,000 円	1,300,000 円

- 4 障害者雇用納付金 800,000 円 (R4 1,550,000 円 R3 2,350,000 円)
- ・ 常用雇用労働者の総数 年間延べ人数 3,443 人 (昨年 3,309 人)
 - ・ 必要な法定雇用障害者人数 3,251 人 × 2.3 ≒ 72 人 (昨年 70 人)
 - ・ 法定雇用障害者の延べ人数 (年間) 72 人 (昨年 70 人)
 - ・ 実際の雇用障害者延べ人数 (年間) 56 人 (昨年 39 人)
-
- 差 引 16 人 (昨年 31 人)
- ・ 納付額の計算 16 人 × 50,000 円 = 800,000 円
 (昨年 31 人 × 50,000 円 = 1,550,000 円)

第2部
千歳敬心苑
(東京都世田谷区給田)

目次

		頁
1	はじめに . . .	11
2	特別養護老人ホーム千歳敬心苑 . . .	12
3	デイ・ホーム千歳 . . .	14
4	給田ヘルパーステーション . . .	15
5	給田介護保険サービス . . .	16
6	烏山あんしんすこやかセンター . . .	17

1 はじめに

令和5年度は、新型コロナが5類感染症に分類されました。世の中が急速に「コロナ前」に戻そうとしていく一方、私たち高齢者福祉事業においては、油断できない状況に変わりなく、世間の認識との狭間で非常に難しい運営を迫られた一年でした。

そのなかで、職員たちは、「コロナ禍」で積み上げてきた経験を活かし、感染症対策を十分に行いながら、ご利用者の満足度を高め、稼働率を上げる努力をしてきました。

特養においては、多職種連携や稼働率向上の要となる生活相談員を介護職から配置転換しました。新人相談員ですが、目標稼働率（年間）97.5%には届かなかったものの、97.38%と健闘しました。介護現場では、活気ある活動が再開し、外出、調理、ご家族をお招きしてのお祭り行事などが実施されました。

短期入所においては、コロナ禍で低迷した稼働率回復のために、昨年度より営業活動に努めて成果が現れました。新規利用後も、定期利用していただけるようになり、サービスに一定の満足が得られたのではないかと感じます。

デイサービスにおいては、コロナ禍で下がった稼働を挽回すべく、高い目標を立てました。残念ながら、年間目標には届きませんでした。下期の大きな挽回は、職員の努力にほかなりません。半日デイの開始、総合事業の入浴サービス実施、皆勤賞の設定、イベントの充実など、職員の創意工夫が実を結びました。

訪問介護では、全国的な人材不足が顕著ななか、当事業所も例外ではなく、厳しい運営となりました。そのなかでも、昨年度から始めた保険外サービスが充実し、新たな収入源となりました。令和6年度は、新たに特定事業所加算Ⅱを取得し、さらに安定した運営をしていきます。

居宅介護支援事業では、年々難しいケースが増えています。そのなかで、一人のケアマネジャーが問題を抱えこむことなく、事業所全体で問題を共有し、常に解決に向けた話し合いを持つことが習慣化されました。職員全員がスキルアップすることによって、困難ケースといわれる方も断らず、地域から信頼される事業所であり続けます。

地域包括支援センターにおいては、重点課題三つをチーム分けし、事業所全体のスキルアップに努めました。課題を抱える高齢者の実態把握訪問件数は約1600件、年間相談件数は、約12,000件にのぼっています。烏山地区は、世田谷区の地域包括の中でも、最も大変な地区といわれています。業務過多になりながらも、職員たちは日々地域のために精一杯頑張ってくれています。

組織全体に、アメーバ経営が浸透し、自身のアメーバ（事業所・グループ等）に対する帰属意識が高まっています。それぞれのSNSから配信なども行われています。採用に関しては、ホームページ、ブログ、SNSを見て、という方がほとんどで、配信することによって、紹介会社を使わない採用につながっています。発信力を活かし、令和6年度もさらなる人材の確保、育成、定着に努め、地域福祉の発展に努めてまいります。

令和6年5月
千歳敬心苑 施設長 山口 晃 弘

2 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員：80名 併設型短期入所生活介護 定員：12名)

(1) 特別養護老人ホーム

① 重点目標の実施状況

- ア ご利用者と職員の明日が楽しみになる生活を実現します。
年間計画に基づくグループ単位での余暇活動やイベントの実施を目標としていました。年間計画の作成ができていたグループは少なかったですが、日々のグループ運営の中で、体操などの余暇活動、ご当地グルメを楽しむ企画の実施などを行いました。
次年度はご入居者の提案による、グループの特色を活かした企画を目指します。
- イ 免疫力を高め、感染症に負けない心身を作ります。
春グループが実施していたご当地グルメ企画は好評でした。他のグループでも季節にちなんだイベントや日常的な体操などを行っていました。
また、11月に行った「秋のちとフェス」では、季節を感じる食事を提供して楽しんでいただきました。感染状況に留意しながらではありますが、60名を超えるご家族にも参加いただき、盛況で終えることができました。
今後のご家族、地域の方をお招きする機会を作っていきます。
- ウ 魅力ある介護、魅せる介護を発信します。
グループ単位で運用しているインスタグラムは、発信の頻度に差があることや使用する写真の選定について配慮が欠けていたことがあり、管理に課題が残りました。
実践報告会は実施できませんでした。
次年度は規模や内容を再考して実施を目指します。

② その他目標の達成状況

稼働率は、97.38%で目標は未達成でした。(目標稼働率97.5%)
退居から入居までの平均日数は11.2日でしたが、特に下半期に入院が多かったことが影響しています。

③ 年度総括

感染症に留意した生活を継続しなければならない一年でしたが、面会方法の緩和、個別での外出、久しぶりにご家族を招いたイベント、家族会の開催など、過去数年で実現できなかったことに着手することができました。
グループ運営については、目指すアメーバ経営には遠いところではありますが、グループ職員の所属意識の高さ、ご入居者と職員の楽しみを迫及する意識などにプラスの変化があったと思います。
次年度は、本格的に脱コロナを意識した運営を求められると思います。ご入居者のご家族にとってより親しみやすい環境、地域の方々にとってより馴染のある場所、職員にとってやりがいのある職場を目指していきます。

(2) 併設型短期入所生活介護（稼働率目標：100%）

① 重点目標の実施状況

ア コロナ禍であっても安定した稼働に繋がるよう、新規集客を図り、安心して滞在して頂けるよう努めます。

在宅サービスの一つとして個々の生活環境を理解し、サービスの提供を進めてきました。新規集客についても毎月2~4名の案内を進め、新たな事業所からの紹介であったり、5年以上前に初回利用した方の再利用では「千歳敬心苑でサービスを利用したい」と伝えられ、一年を通して定期的な利用にも繋がりました。調布市・三鷹市の事業所からの問い合わせも増え、主に送迎範囲の問い合わせが多く、出来る限り対応する旨を伝え調整してきました。実際にサービスに繋がらなかったケースでも、別の機会で再度問い合わせを頂く事もあり、緊急利用の問い合わせについても、当日の対応が難しい時には具体的な受け入れ可能な日を提案し、サービスに繋げ、状況に応じて長期滞在が可能になるよう提案するケースもありました。

イ 滞在中の生活に不満がないように努め、安全で快適な環境で過ごして頂けるよう、心掛けていきます。

滞在中は日常生活のケアの他、リハビリ体操やグループ内でのおやつ会等で楽しまれ、退所の手紙でご家族にも楽しく過ごされた事を継続して報告できました。入浴を楽しみにしている方も多く、ご家族からも手足を伸ばして温まって頂ける事に喜ばれ、機械浴と合わせてリフト式の個浴で対応する事で、横になって入る事に抵抗がある方にも、しっかりと温まって頂く事が可能になりました。

ウ 継続したサービス提供の中で機能維持・向上を図ると共に、健康管理に努めていきます。

機能訓練指導員の介入と、生活リハビリにも配慮し、車椅子から椅子への座り替えやトイレの行き来の中での動作等、日々の生活の中で自然に出来る事から取り組み、自宅に戻られた後もスムーズに日々の生活に戻られるよう取り組みました。

② その他目標の達成状況

サービスの継続利用を獲得する上でも、入退所時のADLに変わりがなく、いつも通り自宅に戻られ、ご本人・ご家族が考える「当たり前の生活」を維持出来るよう努めてきました。安心・安全を継続し、怪我や事故がおきた際には、丁寧な説明を心掛ける事で信頼に繋がり、退所後のご本人の表情でご家族が再利用を決められるケースも多く、新規利用後も定期的な利用に繋がって来ました。

③ 年度総括

稼働目標100%を達成出来ず、長期利用者の施設入所や入院等でサービスを終了する事も続き、1名のキャンセルに対して2か月先までの利用予定を調整していく事が追い付かず80%台で経過する月もありました。

新たな取り組みとしてケアワーカーに入退所業務を移行出来るよう流れを作る1年と考えていましたが、人員不足等で業務にも余裕がなく対応が出来ませんでした。滞在中の対応が在宅生活の維持・向上に繋がり、個々のニーズや家族からの希望に合わせてサービスの提供がされている事を知ってもらえる機会として、引き続き協力して新たなサービス体制を整えて行けるよう努め、今年度通して達成出来ていなかった稼働目標についても、継続して向上・維持が出来るよう目指していきます。

3 デイ・ホーム千歳

(指定通所介護 定員：42名 認知症対応型通所介護 定員：12名)

① 重点目標の実施状況

上半期目標 72.2%→実績 66.6% 下半期目標 70.9%→実績 71.9%

年間目標 71%→69.3%

新規契約者数目標 50人→実績 72人

上半期は目標の稼働を下まわっていますが、新規契約者数が非常に多く上半期で51人契約できているため登録者数が122人から142人となりました。そのため下半期の稼働目標は達成する事ができました。年間目標は達成できませんでしたが、従来の稼働状況に戻す事ができ、やっとコロナ禍の影響から抜け出す事ができたように感じます。

② その他目標の達成状況

令和4年度の新規利用者契約数が27件と少なく、利用者数も66.2%と目標達成できなかったため、ケアマネジャーや利用者の意見を取り入れ今まで行っていなかった半日利用や総合事業の利用者の入浴サービス等を実施し、年間契約者数を65人と増やす事ができました。

また、Instagramを月に3~4回の更新やケアマネジャーへの季刊誌を年3回程度発行し発信に力を入れました。

行事活動も花見ドライブ、運動会、スイカわり、敬老会等コロナ禍前の行事も行えるようになりました。3年振りにおやつ会としてファミリーレストランへ行きデザートを食べる事ができました。久々の外出レクとなり満足していただきました。

③ 年度総括

他のデイサービスとの差別化を図るため、ご利用者のニーズを把握し、何ができるのかと日々職員同士で話し合い、実践してきた事で稼働が戻ってきました。

その中でも皆勤賞として6ヶ月間休まず利用された方にオリジナルTシャツをプレゼントする企画を考え24名の方が休まずデイに利用していただきました。

さらに振替利用、臨時利用が令和4年度は18件だったのが令和5年度は78件と4倍以上に向上しました。利用者自身にも目標を持ってもらえて稼働にも繋がられたため今後も企画して行きたいと考えています。

人材育成としては、振り返りが苦手な職員のために毎日専用に振り返り用紙に記入して振り返りを行う仕組みを作りました。職員一人一人の課題を細かく分析する事ができ、班(アメーバ)ミーティングで目標設定して業務に活かす事ができました。

4 給田ヘルパーステーション（訪問介護事業所）

① 重点目標の実施状況

1ヶ月あたりの収入目標を4,200,000円としていましたが、結果3,977,439円と目標の達成率は95%でした。

現時点での職員数で応えられる依頼には精一杯応じてきましたが、帯で身体介護に入る様な依頼に応えられる程の人員がおらず苦戦しました。

② その他目標の達成状況

新規契約者数は年間37人で、目標の35人を達成する事ができました。

しかし、昨年度同様解約者数が39人と契約者数を上回ってしまい、売り上げに繋げることができませんでした。

③ 年度総括

令和5年4月より非常勤職員が増員となりましたが、令和4年度実施していたデイサービスからの職員の出向が減少したため、思う様に売り上げを伸ばすことができませんでした。

しかし、保険外サービスは前年度より204,500円多い514,500円と売り上げを伸ばすことができました。

来年度は、人材不足の中でも安定した収入を得ることができるよう、新規と解約のバランスを図ります。

また、令和6年4月からの介護報酬改定や、6月からの特定事業所加算（Ⅱ）の取得に合わせ、職員・登録ヘルパー全員がスキルアップできるよう研修やケア会議を実施していきます。

5 給田介護保険サービス（居宅介護支援事業所）

① 重点目標の実施状況

介護支援専門員一人当たり、稼働 35 件については年間を通して 32 件程度で終わりました。また、新規ご依頼から短期間で終了するケースについても迅速に対応してきました。

多種多様なニーズに応えるためにミーティングにおいて事例検討などを通し、事業所全体の課題として捉え、ご本人、ご家族の心に寄り添った支援を遂行してきました。

② その他目標の達成状況

事業所内で得た情報や支援方針について、外部の事業所にも発信し共有できるよう務め、連携を図りながらご利用者を支援する事を意識してきました。結果、介護支援専門員一人で抱え込むことなく、チームとして支援する体制作りとして事業間の連携を強化する事に繋がりました。

③ 年度総括

早急なケアマネジメントが必要なケースにおいても、複合施設の強みを活かして対応してきました。医療ニーズの高いご利用者や近親者や親しい協力者のいないケースなどについても、医療、地域包括支援センターなどとも協力し出来る限りご意向に添った対応を心がけてきました。今後も、幅広い協力体制を構築し、地域の方々に還元できる事業所を目指します。

6 烏山あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）

① 重点目標の実施状況

重点目標の一つ目は「地域とともに育ち、地域の方から信頼される事業所を目指します」で、サロンや自主グループへ訪問し、活動内容等の情報を集めて一覧にまとめ、参加を希望する高齢者に情報を提示し、参加につなげるための媒介になりました。広報紙の配布や出前講座の開催により、センターの活動を知っていただくとともに介護予防の取り組みの普及啓発に努めました。昨年度より立ち上げに協力していたサロンや自主グループへの後方支援を引き続き行いました。

重点目標の二つ目は「総合相談の対応力を向上します」で、相談場面をはじめとする対人援助の基本視点に基づき、実践の場に活かせるようスキルアップを目的とした月1回の所内ミーティングを行いました。職員それぞれが担当するケースの共有や事後の振り返りとして活用できているだけでなく、グループ内で事例提供者、ファシリテーター、書記等を担うことで面談技術やファシリテーション力の向上に役立てることができました。職員同士の情報共有をより詳細かつ効率化できるよう、相談記録書式の一新を行いました。

重点目標の三つ目は「介護予防ケアマネジメントの質を向上します」で、介護予防ケアマネジメントを行う高齢者が主体的に介護予防の取り組みを行えるよう、適切な助言を得るために事例を提供し、地域ケア会議Aを開催しました。短期集中的にセルフマネジメントについて学ぶ介護予防筋力アップ教室については5名の参加者をつなぐことができました。その他の一般介護予防事業参加者や他の地区のサロン参加者等の情報を共有し、チェックリストの結果により適切な事業を案内し、地域活動につながるような情報提供に努めました。

② その他目標の達成状況

課題を抱える高齢者の実態を把握して必要な支援につなげるため、見守り協定機関や民生委員からの通報に対し、積極的かつ迅速な対応と客観性のある介入を心掛け、実態把握訪問件数は1600件にものぼりました。

認知症ケア推進のための地域づくりを目的とし、アクションチームの活動やイベントに出向き、活動継続のための企画の提案や情報提供等を行いました。

地区連携医事業では、担当医、クリニックとの綿密な連携により、地域のケアマネジャー、介護サービス事業所、薬局等の関係性の強化、高齢者への支援に役立つ医療的助言の機会をつくるよう努め、毎回50名前後、多い時には70名以上の参加がありました。

③ 年度総括

新型コロナの5類移行により、事業運営は完全に通常通りになったものの、数年間の外出や交流自粛が高齢者の方へもたらした影響は大きく、要介護・要支援認定申請や介護保険等のサービス利用を希望する方は増加傾向にあります。増えるニーズに対応するため職員の欠員が発生しないよう、職場内のコミュニケーションの活性化など定着に努める必要があります。

第3部
池袋敬心苑
(東京都豊島区南池袋)

目次

	頁
1 はじめに . . .	18
2 特別養護老人ホーム池袋敬心苑 . . .	19
3 デイホーム南池袋 . . .	21
4 ふくろうの杜介護保険サービス . . .	22
5 ふくろうの杜高齢者総合相談センター . . .	23
6 障害者支援施設 雑司谷 . . .	24
7 池袋敬心苑 機能訓練室 . . .	26
8 池袋敬心苑 医務室 . . .	27

1 はじめに

令和5年度は5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「2類相当」から「5類」に引き下げられた以降、コロナ禍以前の状況を取り戻すべく令和4年度に掲げた「前進」というスローガンを「さらなる前進」に更新し、施設全体で様々な取り組みを推進してまいりました。

3年以上にも及ぶコロナ禍で設定された制約のすべてを撤廃し、ご家族の面会についても従前のようにフロアで制限なく面会いただくことで、ご利用者の生活に明るさを取り戻すことにも繋がりました。

また、外部との交流も以前に増して盛んとなり、ボランティアをされる方々を池袋敬心苑では独自の呼称として「オリナスメイツ」としておりますが、受け入れを再開したところ登録者数もあつという間に50名を超え、デイホーム南池袋を中心に様々な活動していただいております。

地域公益事業においても停滞することなく取り組みを続け、令和5年度に実施した「豊島区入浴特化型デイサービスモデル事業」を令和6年度の新規拡充事業である「としま入浴通所サービス」に繋げ、その受託に至りました。

他にも大正大学、日本女子大学や地域の専門学校と連携し、インフォーマルな福祉の担い手を開拓するプロジェクトチームにおいても、その成果のひとつとして令和6年度にイベントの実施が予定されるなど、多方面に精力的に展開しており豊島区からも高く評価いただいております。

ご利用者に対するサービスにおいても水族館、動物園への外出支援や日頃の余暇活動のための環境整備が進み、コロナ禍以前よりも充実した生活、サービスの提供に発展が窺えております。

職員定着のための取り組みでは、豊島区内の他法人事業所との交流会である「こころのありか」は定期開催に至り、また新たに交換研修の仕組みとして「としまアーク」も稼働が始まり、その他では「ワカイチカラカガヤケ」や「癒しのここね」も大いに機能しており、一定の成果が窺えております。

居宅介護支援事業所であるふくろうの杜介護保険サービスでは、介護支援専門員の増員をおこなったことで、施設全体としての拡充・拡大路線の方針を具現化でき、ますます活性が高まってまいりました。

令和6年度においても「弛まず前進」し続け「地域福祉のフラッグシップ」を担うことを意識したご利用者サービスの創造に引き続き取り組んでまいります。

令和6年5月
池袋敬心苑 施設長 齋藤 隆弘

2 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員：82名 併設型短期入所生活介護 定員：10名)

(1) 特別養護老人ホーム

① 重点目標の実施状況

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、養護課では11月より面会制限を解除とし「コロナ禍以前の生活」を取り戻すことができました。ご家族の面会や外出機会が格段に増え、「家族の時間」を過ごしていただけるようになり多くの喜びの声を聴くことができました。

その中でも看取りケア＝終末期ケアではなく「生きる楽しみ」を感じて頂けるようご家族も招待し「オータムフェス（秋祭り）」を開催し82名のご家族に参加していただき大盛況で終えることができました。

3年ぶりの初詣やトンカチーズが創り上げたBAR「NO NAME」のオープニングセレモニーの開催、水族館への外出など生活の中に彩りや喜びを感じて頂ける活動を多数実施するとともに、ご利用者の喜ばれている姿や日常生活の様子など思い出を振り返りもう一度楽しんでいただけるよう、お一人ずつアルバムをご用意し、「次（明日）を楽しみにする」ことに繋げる取り組みが出来ました。

② その他目標の達成状況

業務の精度向上及び業務負担の軽減を目的とし、「すぐらくタブレット」の導入を行いました。全職員がHotBizアカウントを付与されたことで情報共有の強化だけでなく新たな研修スタイルを確立するなど積極的に活用することでリテラシー向上に繋げることができました。

各施設が抱える課題の解決や職員満足度の向上を目指し新しい手法、手段、仕組みを交換する豊島区内施設間での交換研修「としまアーク」を企画し、3法人で実施することが出来ました。

③ 年度総括

「やりたい事を提案する」土壌が整い、さらに実現していく力を得たことでより一層アイデアが膨らみ「もっと！」と前向きに自己実現の機会を拡大していく姿勢は他職員にも「自分もやりたい！」と良い影響を及ぼし、養護課としての大きな前進に繋がった1年であったと評価しています。

「ご利用者の生活」をより良いものしたい想いと同時に職員にとってのやりがいや成長するための視点を施設内だけでなく外部に向けることで視野の広がりや、「池袋敬心苑の良さ」に改めて気づくことができた1年でもありました。今年度のポジティブな取り組み姿勢を令和6年度に繋げ更なるサービスの向上及び職員の成長を目指します。

(2) 併設型短期入所生活介護

① 重点目標の実施状況

「S勤務」体制を確立し、既存のサービスであった「ウェルカムドリンクと軽食でのおもてなし」やご利用時の様子を記録だけでなくアルバムでお渡しすることが丁寧に実践することができました。

入退所時の送迎をS勤務者が担い、直接ご家族の声を聞く機会を得たことで「ショートステイサービス」への意識が高まり、レンタル衣類の充実や、外出などの個別活動や集団での余暇活動の幅の拡大に取り組むことで、ご利用者やご家族の満足度が向上し新規利用者のリピーター化に繋げることができました。

介護と看護の連携により緊急ショートや豊島区からの措置入所の要請など最大限の受け入れ協力をする中で「必要としている方にサービスを提供する」という社会福祉法人の使命を果たすことができたと評価しています。

② その他目標の達成状況

ご利用者が池袋敬心苑での生活を楽しく意欲的に過ごせるよう「頑張り」をポイント化し、ご利用者の記憶に残る思い出やプレゼントを提供する『そくさいびより』を実施するなど新たなサービスの創出に取り組みました。

③ 年度総括

令和5年度は特別養護老人ホームの運営基盤強化により、稼働率が向上したことでショートステイサービスのベッドコントロールが困難となる面もありましたが、「S勤務」の配置やご利用者（ご家族）やケアマネジャーが利用しやすいサービスの創出に取り組み続けたことで「また池袋敬心苑を利用したい！」と思っ頂けるサービスをご提供することができました。

特別養護老人ホームのご利用者だけでなく、ショートステイサービスも常にご利用者が中心であることを前提とし、「職員の自己実現・達成感や満足感」をご利用者の満足度の向上に繋げるべく新たな試みに積極的に取り組み実現する力を身につけ、令和6年度は更なる飛躍を目指す1年としたいと思います。

3 デイホーム南池袋

(指定通所介護 定員：35名 認知症対応型通所介護 定員：12名)

① 重点目標の実施状況

- ア 今年度開始前に職員にアンケートを行い、ご利用者・職員がどんなことをしたいか調査し、それに沿った行事やプログラムを立案しました。何が喜ばれるか、楽しいかを考えて実施することが出来ました。
- イ デイでの入浴者数を大きく増やすことが出来ました。そこには地域の課題とも言える銭湯がなくなってきていることや、総合事業の受け入れ先の少なさにアプローチしたこと、個別機能訓練の実施数も増やすことが出来ました。今春に導入したりハビリ機材と夏の事業所回りと内覧会を通じて、デイホーム南池袋を知ってもらえたことも一因ではないかと考えています。
- ウ 今年の春にコロナが明け、外出レクリエーションも複数行い、季節を感じてもらえるプログラムも実施出来ました。また、外部のボランティア、学生等を沢山受け入れることが出来ました。学生やボランティアにとっては勉強の場でもあり、職員にとっては就労の場として、デイホーム南池袋という場を通じて社会参加や地域との関わりを活性化出来たのではないかと考えています。

② その他目標の達成状況

コロナ禍の影響もありなかなかご利用者数を増やすことが難しかったですが、この一年でご利用者数を獲得することが出来ました。夏の広報活動や内覧会開催を通じて入浴ニーズへの対応等が評価されたのだと考えています。

③ 年度総括

今年度の取り組みで一番大切にしていたのは、かつてのデイを取り戻すのではなく、コロナ禍を戦い抜いたことによる、新たなデイホーム南池袋を生み出すことでした。様々な取り組みの中でうまくいったこと、いかなかったことがたくさんありましたが、よりよいサービスを提供する、ご利用者満足を高める取り組みを継続し続けていることが、ご利用したいと考えてくれる人を増やす取り組みに繋がったと考えており、現にご利用契約者数が過去最高数に達したことは、本当に嬉しいことです。

こうしたデイホーム南池袋をみんなで作り上げることが出来たことが何よりの宝物だと考えています。来年も勢いを落とさず、邁進していきます。

4 ふくろうの杜介護保険サービス（居宅介護支援事業所）

① 重点目標の実施状況

- ア 豊島区による研修や、業者主催の研修等に事業所全体で20回参加しており、ケアマネジメント力の向上に努めております。
事業の効率化に向けては、東京都の補助金事業を利用し、タブレット2台、すぐろくケアマネ2アカウントを導入し、外出先等でも記録等行っております。
- イ 高齢者総合相談センターとの地域ケア会議、個別ケア会議等への出席や、困難事例の受け入れ等を行っています。問題解決に向けての取り組み等を共有し、事業所内にフィードバックし解決策の検討を事業所内でも行っています。
7・11・3月にふくろうの杜圏域の居宅介護支援事業所（5事業所）により、事例検討・勉強会を開催し地域の課題や法改正の情報等、共有することができました。
- ウ オリナスプロジェクトや、つながる・つなげるプロジェクトに参加し、地域での人と人のつながりや、どのようにしていったら、地域のつながりをマッチングしているのかを、検討し、実行に向けての取り組みを行っています。

② その他目標の達成状況

豊島区介護支援専門員連絡会は、ケアマネ支援や研修、その他の活動を通じて団体としての力を付けています。
研修（4回）等を行い、ケアマネのケアマネジメント力の向上や、繋がりを強化していく事に取り組んでおります。当事業所より役員を2名選出しております。

③ 年度総括

売上は、前年比を上回る売り上げを計上する事ができました。
令和6年1月より、介護支援専門員の新入職員が1名入職致しましたので、令和6年度は、新規獲得による売り上げの安定と、地域の社会資源としての役割、地域との連携協働に力をいれて参ります。

5 ふくろうの杜高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）

① 重点目標の実施状況

- ア 区民ひろば3か所で月2回出張相談を実施しました。包括の広報や介護予防の啓発を行いました。敬心苑（療護課）で区の入浴モデル事業が行われ、対象者の選定や事業実施の協力を行いました。
- イ 区、第2層コーディネーター、CSW、介護予防センター等とは、昨年同様毎月広報検討会を実施。情報交換や具体的なケースを検討するなどして地域の介護予防や社会資源開発を行っております。
今年度の地区懇談会は、介護予防センターや第2層コーディネーターと協力して、介護予防の普及啓発を行いました。ふくろうの杜圏域多職種連携会（医師会と介護サービス事業者との連携会）では「防災」をテーマに開催し、防災への理解を深めることができました。また、会の後に懇親会を4年ぶりに実施して、医師会やサービス事業者と顔のみえる関係づくりに繋がりました。
- ウ 各種研修（区内、外部、苑内）に積極的に参加しています。区の会議、部会、プロジェクト、認知症施策等への参加の要望が増えており、ミーティングでそれらの情報共有を行っております。

② その他目標の達成状況

臨時特別給付金の未受給者への勧奨業務が区から包括に依頼があり、153件実施いたしました。ふくろうの杜圏域のつながるサロンは15か所あり35回包括職員がサロンを巡回してサロンとの連携に努めました。

③ 年度総括

包括の業務内容が広範囲になっており、負担が大きくなってきております。ケアプラン点検などの時間をあまりとることができませんでした。

実地指導で指摘事項を受けたところや制度改正における変更点など情報共有する場を作っていきたいです。

11月からセンター長不在となりましたが、職員全員の協力のもと日々の業務をなんとか終えることができました。

6 障害者支援施設 雑司谷

(施設入所支援施設・生活介護 定員 10 名 併設障害福祉サービス事業 定員：1 名)
(地域活動支援センター 定員：10 名)

(1) 施設入所支援施設・生活介護・併設障害福祉サービス事業

① 重点目標の実施状況

重度化高齢化対策としてスライドボードや移乗機具を導入、介護技術内部研修（ボディメカニクス）を受講しました。日中活動支援として外出機会の増加、季節の行事実施とその様子を写真に収め掲示物を作成する取り組みを行いました。短期入所では新規ご利用者の通所先事業所見学を実施、ケース理解を進めました。

複数事業を一体のものとして取り扱い実施している私達にとっては、一度立ち止まってそれぞれの事業の機能や求められている事を振り返ることは意識的に行わないと難しいものです。今年度の取り組みはこのような根本的課題と向き合うきっかけになったように感じます。

また、事例検討会の発足と定着、地域事業所見学ツアーの実現も行うことが出来、内部の職種間連携、外部事業所との関係作りが一步前進しました。

② その他目標の達成状況

豊島区より受託した「入浴特化型デイサービスモデル事業」全 12 回の取り組みを無事に行うことが出来、令和 6 年度の「としま入浴通所サービス」誕生に寄与することができました。

③ 年度総括

思い返せば、看取り支援を行っていない私達の令和 5 年度は、開設当初よりご入居頂いていた方の末期がん療養をお見送りした所から始まりました。

ご利用者の重度化高齢化を切実に感じた 1 年の幕開けでした。

また、新型コロナウイルス感染症は 5 類に移行、アフターコロナ 1 年目ともいうべき年でしたが、結果的に 2 度ほどフロアの感染対応に追われ、整わない職員体制をなんとか整えながら乗り越えてきた過程で、日々を無事に終えていくことで手一杯になる場面も多く見られました。

そのような中で、若手・中堅・ベテランがそれぞれの持ち味を發揮しながら支え合う姿が変わらずあったことにこちらが勇気づけられました。

やりたくてもできなかったことも当然ありますが、その悔しさは明日へのバネとし、厳しい環境の中でも仲間とともにやり遂げられたことを私たちの宝と位置づけ、素晴らしい令和 6 年度を切り開いていくことが出来ると確信しています。

(2) 地域活動支援センター

① 重点目標の実施状況

入所ご利用者の日中活動と連動する形でプログラムの幅が少しずつではありますが増えてきました。重度の方は動画を視聴しながら談笑する時間を持つなど、交流や居場所機能を大切にしました。

当方と同じく、医療的ケアを必要とするご利用者を受け入れている区立施設への見学が実現しました。意見交換を行い、今後の連携に期待が持てる結果となりました。

② 年度総括

新型コロナウイルス感染症は5類となったものの、2類の頃と比較して感染が広がりにくくなったわけではなく、安心できる通所先として機能する為の取り組みや課題にはさほど変化はなかったように感じます。

新たな試みに着手することはなかなかできなかった部分もありますが、地域の皆さんの居場所として変わらずあり続けることを基本姿勢としながら、感染対策や医療的ケアなどの柱を意識しつつ、今後も「少しずつの変化」を粘り強く積み重ねて行きます。

7 池袋敬心苑 機能訓練室

① 機能訓練室としての主な取り組み

- ア デイホーム南池袋のパワーリハビリ導入
- イ 養護課・療護課・在宅サービス課への研修出張派遣を実施
- ウ 継続的な「癒しのここね」の活動

② 年度総括

- ア 新たなリハビリコンテンツとして導入されたパワーリハビリはご家族・ケアマネからの要望も高いもので今後はさらに需要が増えてくると考えています。
機材選定から導入まではかなりタイトなスケジュールで、導入から展開までもかなり現場の機能訓練指導員が試行錯誤しながら現在に至っています。
今後はより安定的な訓練提供が出来るようなプラットホームを確立し、在宅サービス課のサービス提供の強力な柱の一つとして安定稼働のスキーム作りに寄与できるものと考えています。

- イ 今までは養護課以外では中々苑内研修を実施することは出来ませんでした。昨年度は養護課と療護課と在宅サービス課3つの課の介護職員に向けては同様の介護を行う上で基礎となるボディメカニクスの研修で体の効果的な使い方を学んでもらっています。

この理論は対象としているご利用者が高齢者でも障がい者でも関係なく必須となるものでした。その上に細かい移乗動作理論やポジショニング理論が展開されてきますので、今後も職員の皆さんには腰痛等による欠勤や退職を避けるためにもボディメカニクス理論は何度も立ち返ってもらえたらと思います。

- ウ 「癒しのここね」の活動に関しては年間を通して安定的に活動できたかと考えていきます。昨年度の延べ治療者数もその前の年同様に200人を超えるご利用がありました。
また、今後も職員の皆さんが満足のいく治療が出来るよう、そして、職員の皆さんの健康維持に少しでも貢献出来るよう治療技術のさらなる進化を求め牧野、高橋ともに業務とは別に治療セミナーや実技研修を通して日々研鑽を続けています。

職員の方の安定した業務の先にご利用者への安定したサービス提供が可能になると考えていますので、今後も「癒しのここね」の活動は機能訓練室としても大事にしていきたいと考えています。

8 池袋敬心苑 医務室

① 医務室としての主な取り組み

- ア 各セクションの看護師連携を強化
- イ 御利用者や御家族に寄り添った医療の提供

② 年度総括

「医務室」という新たな組織が誕生して1年が経過しました。特養の医務が情報の拠点となり、それぞれセクションごとの看護師と協力体制が広がりましたことは言うまでもありません。お互いの知識や情報を共有しながら理解を深め、ご利用者への医療的なケアを円滑に行えるよう努めてきました。短い時間でも効果的なコミュニケーションを通して単なる個人の集まりではなく、異なるセクションにおける専門性を活かし協力し合うチームとなってきました。

特養については、令和4年度の入院日数延べ1079日（38人）、令和5年度の入院日数延べ600日（22人）という前年度と比較して大きく減少しました。様々なリスクを抱える高齢者にとって肺炎や心不全など防ぎきれない疾患による入院は否めませんが、介護と医療が手を携えて早期に対応することで重症化せず退院日数の減少に繋がったと思います。

「医務室」の誕生によって、緊急時など垣根を越えて柔軟な対応が実現し、ご利用者やご家族の安心や信頼に繋がる大きな一歩になったと考えます。

第4部
浦安市障がい者福祉センターきらりあ
(千葉県浦安市)

目 次

	頁
1 はじめに . . .	28
2 就労継続支援B型事業 . . .	29
3 生活介護事業 . . .	30
4 地域相談支援事業 . . .	31

1 はじめに

令和5年度はコロナ禍で定着した感染防止対策の基本的なところは残しつつ、日々の活動は平常時に戻すことができたと思います。11月には開所からの20年間の区切りを迎えご利用者や関係者の皆様にご来席いただき式典とイベントを行うことができました。敬心福祉会が浦安市での事業運営を始めてから、たくさんの方々にご理解とご支援いただき続けられてきたことにあらためて感謝申し上げます。

生活介護・就労継続支援では、事業所単位での季節イベントや秋の日帰り旅行のほか、土曜日イベントとして、4月に「ポッチャ大会」7月に「きらりあワークショップ」11月「開所20周年記念」を企画実施しました。外部出店団体を招いたイベントもあり、ご利用者やご家族の皆様にも楽しんでいただけたと感じています。ご利用者にあわせた作業・活動・レイアウト変更などを通して、集団の力の活用と一人ひとりが穏やかに力を発揮できる環境づくりにも努めました。

相談支援では、丁寧な対応と様々な提案ができることでご利用者からの信頼を高められるよう、積極的に市内外の研修に参加しました。また、就業している障がいのある方が気軽に立ち寄れる場「フリースペースふらり（土曜日）」も日数を増やししながらニーズの把握を進めています。

その他、浦安市主催の「浦安市障がい者福祉センター福祉避難所開設訓練」を開設手順に沿って実施し、受付の方法や避難スペースの場所、トイレ設置、備蓄品の置き場など再確認することができました。今後も定期的な開設訓練は継続し、有事の際にはスムーズな開設ができるようにしていきます。

また、この一年は、グループホーム入居や施設入所、介護保険サービスに移行された方が例年よりも多い年でした。必要な引継ぎをしっかりとおこない、次の生活の場にも早く慣れて過ごしていただけるよう配慮しました。

指定管理期間の3年目も安定したご利用者支援を続けることができたと思います。また、障がい者雇用を進め良い人材に巡り合えたことも一歩前進と捉えています。引き続き、障がいのある方のニーズに応えられるよう、職員一同、明るく穏やかに協力し合いながら支援の向上にも努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年5月
浦安市障がい者福祉センター センター長 大島 佐登子

2 就労継続支援B型事業

① 重点目標の実施状況

ア ご利用者が働きがいもち、より主体的に働ける職場づくり

トークンエコノミーを取り入れたり、称賛するポイントを増やしたりすることで作業意欲の向上につなげました。コロナ禍以降中止していた製菓の外部販売を再開し、お客様と直接商品のやり取りをすることを通して働きがいを感じてもらうことができました。また、毎月の売上げを室内に掲示し、数字の変化を楽しみながら売上げを意識して取り組んでもらうことができました。

イ 工賃の維持・向上

安定的に作業を確保することができました。給食の配食業務が令和4年度で終了となり売上げの減少が予測されたので、取引先へ営業をかけ、これまで辞退していた作業も積極的に受注し売上げへつなげました。令和5年度も毎月の工賃の他、賞与も例年通りの回数で支給することができました。

ウ 安心・安全な生活環境の維持

換気やマスク着用、手指消毒など基本的な感染症対策は継続して行いました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した後は食堂のパーテーションを外し、正面に向き合わないように席を配置することで安全に配慮しつつ、仲間と顔を合わせて食事ができるようにしました。

② その他目標の達成状況

午後の休憩時間を10分から20分間へ変更し、ポッチャの練習や体力づくり、リラックスタイムなど、楽しんで取り組める活動を行いました。職員へ相談する時間にしたり静養の時間にしたりと、個々に必要な活動を取り入れることもできました。また、毎月の工賃支給時にご利用者が意見や考えを発信する「みんなの声」の時間を設け、センターの活動に対する要望や仲間への呼びかけなど、様々な内容の発表をしてもらうことができました。

③ 年度総括

余暇時間の充実や意思表示支援に力を入れた一年となりました。「みんなの声」では様々なご利用者の思いや要望を聞くことができ、それに対して可能な限り対応することで、活動内容にご利用者の意見を反映することができました。令和5年度は5名のご利用者が退所され、そのうち4名は介護保険サービスへ移行しました。ご利用者のご家族のみならずご利用者自身の高齢化も進む中で、介護保険サービスとの連携は新たな課題として痛感した一年でもありました。

3 生活介護事業

① 重点目標の実施状況

ア 作業意欲の向上

支援員それぞれが施設内外研修やeラーニングなどで学びを深め、作業での支援にも生かしました。ミーティングや作業班会議にてご利用者一人ひとりの取り組み内容や支援方法について話し合い、実行しました。作業量や時間が増えたり、新しいことに取り組めるようになったりするなど、ご利用者の意欲や成果が高まりました。

イ 体力の維持

年間を通して運動の時間を提供しました。屋内では個別の機能訓練やストレッチの他、集団でのボッチャ、球技、ダンスなどに取り組みました。屋外では近くの公園へのウォーキングや車で大きな公園へ行き園内散策や健康器具で運動することができました。月数回利用した市内公民館の体育館では、バスケットボールや障害物競走、マット運動、ランニングなどで体を動かすとともに、班を交えた関わりを楽しむ場面も多く見られました。

ウ 安全安心な活動の提供

看護師と連携し毎日丁寧な健康観察をおこない、状況に応じてご家庭や関係機関との情報共有、生活環境や活動内容を調整しました。また定期的に部屋のレイアウトを見直すことで、集団の中でも一人ひとりが穏やかに過ごすことができました。

② その他目標の達成状況

ご利用者が季節を感じながら楽しめるイベントを実施しました。夏の「納涼祭」では法被やハチマキも用意し、的あてやボールすくいなどのゲームで笑顔あふれる時間となりました。秋の「日帰り旅行」では、数回に分かれて成田市の航空科学博物館に出かけました。1回の旅行を少人数に設定することで、それぞれが無理のないペースで見学や買い物、食事などを楽しむ様子が見られました。冬は恒例となった「カレンダーづくり」を企画し、装飾に自分の写真や好きな絵を用意することで積極的に取り組み、完成を喜び嬉しそうに自宅に持ち帰る姿も多く見られました。

③ 年度総括

きらりあ開所20周年を迎えたこの一年、コロナ禍を乗り越え昨年度から復活した旅行や季節行事なども無事に開催でき、ご利用者皆さんのこやかな表情や明るい笑顔、思い思いに楽しむ様子をたくさん見ることができました。きらりあの毎日の生活も大きく変わることなく日々安定して過ごすことができ、ありふれた日常に感謝しながら過ごす一年となりました。

4 地域相談支援事業

① 重点目標の実施状況

ア 発信が難しい障がい者とその家族支援

ゴミ屋敷問題や8050世帯、世帯員の多くが課題を抱えている場合など、支援ニーズを発信する力が弱いご利用者が、自身で権利を守ることが難しい場合が多くありました。ご本人からだけでなくご家族や関係機関の情報も丁寧に受け止め、良好な関係を築き、信頼関係をもとに必要な支援を提案していくように努めました。

イ スキルアップ研修参加

ご本人の意志が反映された計画になっているか、希望に添えない場合には丁寧に説明をした上で代替案を提案できているかなど、研修で学んだ意見など出し合いながら適宜ケース検討も行い、より充実した計画作成に取り組みました。

ウ 一般相談を周知する取り組み

一般相談については、令和5年度も実際のサービス提供はありませんでした。来年度も計画は継続し、一般相談のサービス提供をしていることの周知を行い、利用者の確保につなげられるようにしていきたいと思えます。

② その他目標の達成状況

内容	件数
計画作成	122
モニタリング	552
担当者会議	257
相談対応件数	10,253

相談支援実務者会議	年5回
関係機関との連携会議	年2回
自立支援協議会	年7回
事例検討会議	年13回
にも包括推進会議	年3回
委託相談連絡調整会議	年10回

③ 年度総括

複数の課題を抱えるケースが増えていますが、委託相談と計画相談を受けている強みを活かし、ワンストップの相談支援を提供することができました。それにより、ご利用者やご家族にも安心してご相談いただけた一年だったと思えます。また、他職種連携もさらに増え、より専門性の高い相談支援の提供もおこなうことができました。

第5部
敬心ゆめ保育園
(千葉県船橋市)

目 次

		頁
1	はじめに . . .	32
2	保育事業 . . .	33
3	特別保育事業 . . .	34

1 はじめに

令和5年5月コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ禍前の保育に戻す動きが急速に進められる中、今までコロナ禍の陰に隠れていた各種感染症が猛威を振るい、コロナ禍同様の感染防止対策が続きました。

制限を取り払う勇気と感染拡大のリスクを天秤にかけ、日々葛藤を繰り返しながら前に進み始めると、長く我慢を強いられていた子ども達にも笑顔が増えてきたことを実感しました。夏のプールや運動会、歌や台詞を元気な声で伝える表現あそびの会、戻ってきた楽しい食事風景…子ども達は皆たくさん行事を思う存分楽しむことのできた一年となりました。

記念すべき開園10年目である令和5年度3月末、卒園児24名はたくさん力を身につけ巣立ちの日を迎え、5つの小学校へ就学したことを見届けました。

5年度の改革として10月末に10周年記念の大型遊具が完成し、園児へのお披露目を兼ねて風船リリースを実施。遊具の導入によって遊びの幅が広がり、乳児も幼児も楽しみながら運動機能向上に繋がる良い傾向が見られるようになりました。

また、市内の待機児童数が年々減少傾向と言われている中で、他園との差別化を図る目的に於いても、園見学の保護者の皆様からも大変好評で確実に成果が出始めていると感じて選ばれる園作りの一歩を踏み出せたと感じています。

ICT化の導入を開始して8年、保護者には園の様子やお子さんの姿をお伝えするツールとして、画像や動画で可視化するためにも運用を進めてきました。今年度2歳児以上の連絡帳システム運用の進捗は、温かみがある手書きの良さという保護者の声に寄り添い、手書きとICT利用どちらかを保護者の選択制として対応してきました。職員の書類に於いては、職員の業務改善の試みとして少しずつ進めておりますが、ネット環境や端末の個数、システムの追加料金など課題も見えてきているため、次年度は保育システムの利便性と費用対効果を見ながら、職員の保育業務負担軽減を更に検討していきたいと考えます。

職員には数年に亘る感染防止の対応で運動不足や運動機能の低下がみられ、怪我や体調不良に見舞われることも多く、体調管理の重要性を改めて認識する一年だったと感じています。また9割以上が女性の職場であることに関連して、働きやすさ産休育休取得や子育てとの両立がしやすい環境であるために配慮してきました。引き続きワークライフバランスの適正化や職員が健康で明るく楽しい生活が送れるように努め、ストレスをためず健全な職場環境を維持していけるように努めたいと思います。

令和5年度は、園児・職員にとってコロナ禍前に戻すことに全力を尽くした一年でした。

最後になりましたが、関係各所の皆様、園児保護者の皆様のご理解とご協力、たくさんのご支援によって令和5年度を無事に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。

令和6年5月
敬心ゆめ保育園 園長 佐藤 宏美

2 保育事業

① 重点目標の実施状況

乳児保育・幼児保育共に、関わりや環境の充実を図りながら、個を大切にする保育の提供が定着してきたと感じます。

感染防止の制限解除から、年齢や月齢に合った様々な遊びを提供する事が出来るようになり、のびのびする子どもの姿が戻ってきました。また園庭に導入した大型遊具の遊びの様子からも、環境によって大きく活動の幅が広がり、年齢や月齢では測れない育ちがある事も実証できたと感じます。

最終年度の子ども達にとっては、制限のない生活や活動が何より大きい役割を果たし、運動会や表現あそびの会など大きな行事に於いても、難しい内容に取り組み自分たちで作り上げる達成感を味わえました。また支援を要する友だちがいたことで、健常児にとっても支えてあげる側の経験ができ、様々な力を身につける事が出来ました。

② その他目標の達成状況

職員一人ひとりに与えられた役割分担が、役割意識へと変化してきたことで適正に作用し始め、適切な保育環境及び保育の質の向上へと繋がってきています。

適切な保育を行う為に、不適切保育を具体的に示し合ったり、研修や自己評価で自らの保育や言動を定期的に振り返ったりする機会を設け、実施してきたことが保育士の質の向上にも繋がっており、今後も継続して行う事が重要とされます。

ICT化を導入して更に活用範囲が広がっており、用紙削減の他確実に業務負担軽減に繋がっていると感じます。6年度は端末の台数を増やし更に活用を広げたいと思います。

③ 年度総括

コロナ5類移行直後は、制限を取り払ったものの感染状況などから保育への影響も大きく、コロナ禍前の保育に戻すまでには行政への確認や相談を重ね、かなりの時間を要し前進と後退を繰り返しながらその都度課題に取り組んできました。

保育運営では、入園が決まった後に予定数の受け入れができず収入面では苦戦を強いられることになった1年であったと思います。

結婚出産など女性の多い職場ならではの休暇や傷病などで、年度途中で就労継続が難しくなる職員が多かったことで、年度内で職員配置を何度か変更することもありました。職員の健康管理や業務負担軽減のために努めてきましたが、思いの他成果が出なかったと思っています。今後も取り組んでいくつもりです。

3 特別保育事業

① 重点目標の実施状況

延長保育利用の人数がコロナ禍以前より激減していることが、多様な働き方からなるものと捉え対応してきました。同時に利用園児が少ないことで子ども自身が利用を嫌がる傾向にあり利用控えが増えてきていること、同時に収入に影響することも明らかとなってきました。玩具や遊びの環境を更に整備し特別感のある関わりを心がけて利用園児の気持ちに寄り添い楽しめるように対応してきました。

② その他目標の達成状況

長期に亘って対応してきたコロナウイルス感染症の5類移行で、コロナ禍前の病児保育事業の在り方に戻すことが課題となっていました。その他の感染症が猛威を振るう中半年以上かけて積極的な預かりを開始しました。

園児も職員もコロナ禍で失ってきた体力や運動機能の向上を目指し、園児には定期的なりズム遊びを導入。怪我や病気にならない為の保健指導なども積極的に実施しました。怪我の分析では傾向と対策を基に対策してきたことで、年々減ってきていることが実証されてきました。

地域活動推進事業では、依頼した移動水族館に地域の方や他園を招き交流を楽しむことが出来ました。

園庭開放では、コロナ禍以来の実施となりましたが、大型遊具の魅力も伝えることが出来大変喜んでいただきました。

③ 年度総括

特別保育事業関連でも、コロナウイルス感染症が5類になった事で、大きくコロナ禍の影響を受けていたことが分かりました。

保育と同様にコロナ禍前に戻すために、シミュレーションを繰り返しながら一年かけて各種対応ができるようになりました。

コロナ禍では感染拡大防止のため、厳しめに対応する事が多かった病児保育事業では、感染症に対する高い意識を持ちながらも保護者支援にも対応できるゆとりが戻り、コロナ禍前より更に利用者の目線で考えられるようになった事が大きな収穫でもあったと考えます。

第6部
江東区障害者福祉センター
(東京都江東区扇橋)

目 次

	頁
1 はじめに . . .	35
2 多機能型(生活介護・就労継続支援B型)事業 . . .	36
3 地域生活支援関連事業 . . .	37

1 はじめに

令和5年度は敬心福祉会が社会福祉協議会から引き継ぎを受け運営を行った初年度でした。引き継ぎ前にはご利用者やそのご家族をはじめ、運営者であった社会福祉協議会の職員の中にも不安を持っていた方が多くいらっしゃったように見受けられます。そんな中で、浦安事業所から異動した職員、社会福祉協議会から敬心福祉会に移籍してセンターに残ってくれた職員、そして今回の運営開始のために一般募集で集まった職員はセンター事業に精通していない職員がほとんどで、また、チームワークの醸成も十分されていない状況で、運営者交代によるご利用者への不安や混乱を与えないように協力して運営に取り組みました。

具体的には、前年度までのサービス提供の内容や方法、日課や行事等を変更せずに実施するとともに、コミュニケーションを積極的に取るようにし、ニーズ把握をしっかりと行いながらより丁寧な支援を心がけました。前年度までの実施事業、サービス提供の方法は知らないことばかりで、一つの事業を実施するたびに手続き一つひとつを区の担当係、前運営者の社会福祉協議会担当者、あるいはご利用者自身に丁寧に確認を取りながら進めてきました。

その結果、ご利用者やそのご家族、そして関係支援者の皆様のご協力を得て、年度を通して事業内容や方法をおおむね変更することなく実施することができ、大きな混乱やトラブルなく運営を継続することができました。また、ご利用者やご家族とお会いして直接お聞きした話や利用者アンケートの結果からも、安心してご利用いただけるようになっている様子が見え、引き継ぎ運営に関しはうまくできていると一定の評価をいただけたと考えています。

また、次年度は現在使用している施設建物の大規模改修があるため、11月から仮施設へ移転をします。今年度も区と連絡調整を取りながら移転計画を進め、適宜ご利用者等へ情報を提供してきました。毎週のように移転後の環境を検討するとともに、移転期間中に休止をせざるをえなかったり利用が不便になったりするサービス内容に対して代替案などを提案して区の担当課と調整を重ねてきました。移転後の運営のみならず改修後に本設へ戻った後の準備も含めて、今後も丁寧な調整を継続する必要があります。

まずは大規模改修が終了して落ち着く環境が整うまで、ご利用者のご不安やご不便が最小限となるように調整を続けていきます。

今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年5月
江東区障害者福祉センター センター長 肥田 淳

2 多機能型(生活介護・就労継続支援B型)事業

① 重点目標の実施状況

前年度までと実施内容・方法をできる限り変更せずに下記の事業を実施しました。また、新型コロナの5類移行後もご家族からの要望を受けて、施設内でのワクチン集団接種を嘱託医へ依頼をして2回実施しました。

- ＜創作活動＞ スポーツレクリエーション、調理実習、買い物実習、音楽、園芸、自主製作品作成（販売、障害者作品展）
- ＜作業＞ 河川敷公園の清掃、家賃帳・おたより帳のカバー差し、菓子箱の織組立等軽作業、「るーくる」での就労体験
- ＜行事＞ 社会参加訓練、季節行事、誕生会、バスハイク
- ＜地域交流＞ 区民祭り、地域納涼まつり等地域イベントへの出店、かかしコンクール、障害者福祉大会への参加
- ＜健康管理＞ 嘱託医による健診（月1回）、健康診査（年1回）
新型コロナ集団ワクチン接種（年2回）
- ＜機能訓練＞ 理学訓練（59回）、言語訓練（24回）
- ＜保護者との連絡＞ 合同保護者会（年1回）、面談（年2回）、
訓練室ごとの保護者会（年3～4回）、連絡帳の活用
利用者アンケートの実施
- ＜給食サービス＞ 時間差での食堂の利用、給食会議（月1回）

② その他目標の達成状況

＜大規模改修に向けた調整等＞

区との連絡調整会議、保護者説明会、引越し物品リストの作成

＜委員会組織＞

これまでセンターになかった事故委員会、地域・行事委員会、感染対策委員会、給食委員会、広報委員会、権利擁護・虐待防止委員会、研修委員会を新たに組織して、全職員参加による運営ができるようにしました。

③ 年度総括

ご利用者やそのご家族、そして関係支援者の皆様の協力を得ながら、年度を通して事業内容や方法をおおむね変更することなく実施することができました。また、職員は積極的にコミュニケーションをとりながら丁寧な支援を続けることでご利用者との関係を深めることができています。更に、保護者会や面談時でのご家族からの話を聞いても、そして年度末利用者アンケートの結果などを見ても、ご家族からも一定の信頼を得ることができたのではないかと考えています。

次年度は現在使用している施設建物の大規模改修があるため、11月から仮施設へ移転をします。今年度も区と連絡調整を取りながら移転計画を進め、合同保護者説明会を実施するなど 適宜ご利用者等へ情報を提供してきましたが、引き続きご利用者やご家族の皆様可能な限りご不便やご不安を与えないように丁寧な調整を進めてまいります。

3 地域生活支援関連事業

① 重点目標の実施状況

(1) 特定相談支援事業及び基本相談支援

特定相談支援 登録者数 42 名、サービス利用支援 33 名、モニタリング 122 人

(2) 地域活動支援センター事業等

ア 創作的活動及び社会適応訓練事業

IT 教室 1 回、料理教室 1 回、コーラス教室 10 回、健康体操教室 32 回、
絵手紙教室 10 回、陶芸教室 36 回、障害者地域生活支援セミナー 5 回

イ 機能訓練事業

理学療法士による訓練(成人・児童) 96 回、言語聴覚士による訓練(成人) 47 回、
作業療法士による訓練(成人) 24 回、言語聴覚士による訓練(児童) 96 回、
作業療法士による訓練(児童) 48 回、発達相談(児童) 59 回、
社会適応訓練(児童) 22 回

ウ 入浴サービス事業

巡回入浴 延 998 名、機械入浴 延 894 名、家族入浴 延 355 名

エ その他の事業

講演会 7 回、日帰りバスハイク 1 回、地域交流祭 1 回、パソコン支援 24 回

(3) 録音物発行事業

ア 江東声の広報 通常号 43 回、イ 声の区議会だより 6 回、

ウ 選挙のお知らせ・選挙広報 4 回

(4) 点訳サービス事業

ア 公的 point 延 29 件、イ 常駐 point 延 28 件

(5) 高次脳機能障害者支援促進事業

専門相談 12 回、機能訓練 24 回、交流会 24 回、講演会 1 回、連絡会 4 回

② その他目標の達成状況

<大規模改修に向けた調整等>

区との連絡調整会議(随時)、引越し物品リストの作成、

登録団体向け説明会、

移転時に利用が困難となるサービスについての代替サービス調整・検討

<運営委員会>

センターの適正かつ円滑な運営を図るため、地域の関係機関代表者による運営委員会を開催し、今後の運営に関する様々なご意見をいただきました。

<地域交流イベント>

地域との交流をはかりながら、障害者やセンター事業の啓発を目的として地域交流イベント「ふく福まつり」を開催し、約 500 名の来場者がありました。

③ 年度総括

講演会や教室など事業ごとにアンケートをとり今後の事業に生かすようにしていますが、事業内容に対する様々なご希望をいただく他に、職員の接遇について常に良い評価をいただきました。年度の総評となる利用者アンケート結果も、事業全体に対する満足度が高い結果を得ており、引き継ぎ運営として最初の目標を達成できたと考えています。

社会福祉法人 敬心福祉会

～ 事業所一覧～

【〒157-0064 東京都世田谷区給田5-9-5】

- 法人本部事務局 TEL 03-5958-1165 FAX 03-5958-1210
- 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑 TEL 03-3307-1165 FAX 03-3307-1140
- デイ・ホーム千歳 TEL 03-3307-2282 FAX 03-3307-1140
- 給田介護保険サービス TEL 03-3307-2598 FAX 03-3307-1140
- 給田ヘルパーステーション TEL 03-3307-2424 FAX 03-3307-1140

【〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-2-19 烏山区民センター2階】

- 烏山あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）
TEL 03-3307-1198 FAX 03-3300-6885

【〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-7-8 オリナスふくろうの杜】

- 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑 TEL 03-5958-1165 FAX 03-5958-1210
- デイホーム南池袋 TEL 03-5958-1206 FAX 03-5958-1209
- 障害者支援施設 雑司谷 TEL 03-5958-1176 FAX 03-5958-1210
- 雑司谷デイサポートセンター TEL 03-5958-1176 FAX 03-5958-1210
- ふくろうの杜介護保険サービス TEL 03-5958-1207 FAX 03-5958-1195
- ふくろうの杜高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）
TEL 03-5958-1208 FAX 03-5958-1195

【〒279-0042 千葉県浦安市東野1-8-2】

- 浦安市障がい者福祉センターきらりあ（就労継続支援B型事業・生活介護事業）
TEL 047-350-8770 FAX 047-350-8766
- 指定特定相談支援事業 きらりあ相談室 TEL 047-350-8765 FAX 047-350-8775

【〒273-0002 千葉県船橋市東船橋3-15-8】

- 敬心ゆめ保育園 TEL 047-411-5725 FAX 047-424-7373

【〒135-0011 東京都江東区扇橋 3-7-2】

- 江東区障害者福祉センター TEL 03-3699-0316 FAX 03-3647-4918